

## PRESTO™ A80t

### 20リットルリアクターの加熱 -60 °C から +20 °C

#### Objective

このケーススタディでは PRESTO™A80tの加熱能力を20リットルを使ってテストします。PRESTO™A80tは1mのメタルチューブにされており、PRESTO™A80tは-60°Cから+20°Cに加熱運転を行う様にプログラムされております。

#### Environment

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	208 V / 60 Hz

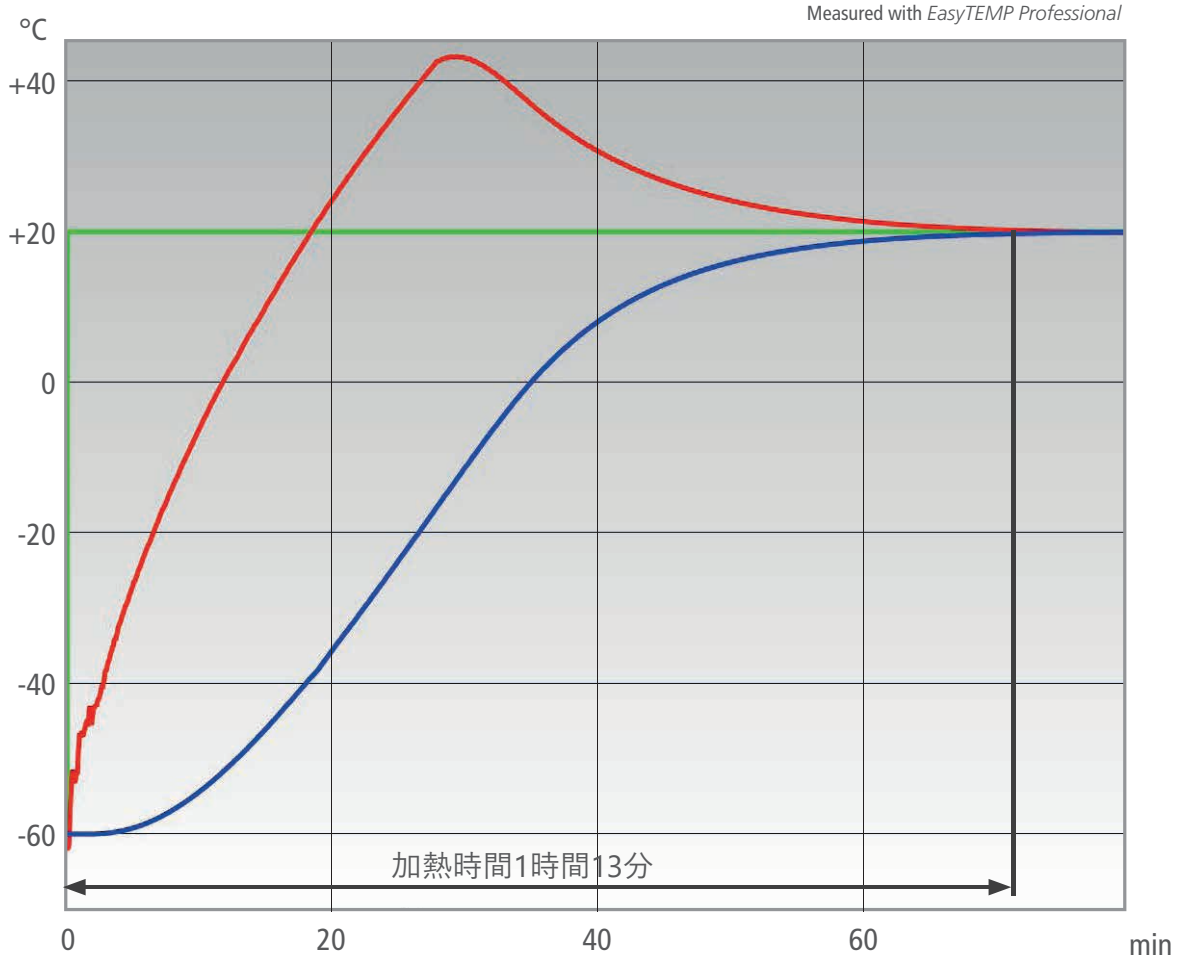
#### Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
バンドリミット	使用
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL80
リアクター	20 リットルガラスリアクター (Asahi) 充填液 19 l サーマル HL80
ジャケット容量	7 l
コントロール	外部制御(ICC)



## Test Results

The PRESTO™ A80t はオーバーシュート無しで-60 °C から +20°C の加熱時間は1時間13分かかりました。

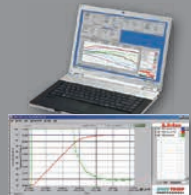


- 設定温度
- リアクター内部温度
- リアクタージャケット温度

### Tip

無償ソフトウェアの *EasyTEMP* を使えば PC からユラボの制御や温度カーブを表示することが出来ます。

**EasyTEMP**



### Tip

豊富なアクセサリが揃っております。M+R 温度センサーは配管途中の温度を表示、記録することが出来ます。

